

井原市

1 市町村概要

岡山県の西南部に位置し、西は広島県に接しています。南部には高梁川支流の小田川が、西から東へ貫流し、その流域の平野部に市街地が形成されています。北部は、標高 200～400 メートルの丘陵地帯で吉備高原へと続いています。本市の面積は、243.36 平方キロメートルで、地形的には市街地を除いて、ほとんどが自然豊かな山々に囲まれた農山村です。

瀬戸内地域の温暖な気候と肥沃な大地、そして水に恵まれた、暮らしやすいまちです。



人口	39,204人（世帯数16,767世帯） ※令和3年2月末時点	
主な産業	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統産業である織布、染色、縫製等の繊維産業 ・情報通信機器、プラスチック製品、電子部品・デバイス、輸送用機器の製造業 ・果樹栽培（ぶどう）、根菜栽培（ごぼう）、畜産業（鶏、牛、豚） 	
地域の主なイベント	9月 ピオーネまつり 10月 美星ふるさと祭り 11月 芳井ふるさと祭り、あたごっち大作戦 12月 明治ごんぼう村フェスティバル	
生活環境	買い物	大型スーパー5（うち2店は24時間営業）、コンビニ10、ホームセンター4
	医療	病院及び診療所28施設、歯科医21施設
	学校	保育園11園、幼稚園13園、小学校13校、中学校5校、高等学校3校

アクセス方法

岡山空港から：50km、車で約110分
 岡山駅から：50km、車で約110分
 福山駅から：20km、車で約40分
 笠岡ICから：10km、車で約20分

2 新規就農に向けた支援について

(1) 地域農業の特徴

温暖な気候と肥沃な土地、そして水に恵まれ、野菜・果樹・畜産など多彩な農業経営が営まれています。中でもぶどうの品質の良さは市場でも高い評価を得ており、収益性にも優れています。

担い手育成や農業基盤整備に取り組みながら、生産意欲の高揚につなげていくとともに、地域の活性化を図りたいと考えています。

自然条件
年間平均気温：13～15℃
年間降水量：約1,200mm
積雪の状況
南部：ほとんどない
北部：1～2月あり

(2) 就農希望の方へ

井原市は、地域農業の担い手となる方、本気で就農したい方を応援しています。市内全域で農地取得の下限面積は10aです。ただし、空き家・空き農地バンクに登録された農地を空き家とセットで購入する場合、農業委員会の区域指定を受けた農地の下限面積は0.1aです。農業を始めやすい環境を整え、関係機関や関係団体と連携し、就農しようとする皆様の創意と自立する意欲を大切に、支援していきたくと考えています。

(3) 農業体験研修・実務研修の研修主体

※受入体制整備等状況等により研修生を募集しない場合があります。

	研修品目	産地の位置	研修主体名
1	ぶどう（ピオーネ）	井原地区、芳井地区、美星地区	晴れの国岡山農業協同組合

研修受入の条件等

- ・年齢が55歳未満であること
- ・就農意欲が非常に高いこと
- ・市内に就農し、住居の確保ができること
- ・就農準備に必要な資金があること
- ・地域の活動に積極的であること

(4) 就農、定住等に関する支援情報

就農関係の支援	農地の確保	農業委員会や井原市移住・定住支援ポータルサイト「いばらぐらし」による情報提供
	就業奨励金支給事業	市内において新たに農業に従事し、将来にわたり専業として農業経営を続けていこうとする者に対して、就業奨励金を支給。 ＜対象者＞市内に居住し、申請年度当初において年齢が39歳以下の方
	就農相談	関係機関と連携し、随時実施している
その他の支援等	住居の確保	井原市移住・定住支援ポータルサイト「いばらぐらし」による情報提供
	子ども医療助成	高校3年生修了時まで、保険診療による自己負担の全額を助成
	住宅に係る助成	○いばらぐらし中古住宅活用補助金 「井原市空き家・空き農地バンク制度」に登録された空き家を賃借又は購入して市外から転入した場合、賃借料や購入費を補助 賃借料：月額賃借料の2分の1以内（限度額2万円）を12ヶ月分 購入費：対象経費の5分の1以内（上限100万円） ○いばらぐらし住宅新築補助金 市内に住宅を新築する方に対し、住宅新築に要する経費の一部を補助 対象経費の10分の1以内（上限額50万円、市内業者は上限額100万円） ○いばらぐらしスマイルプラス補助金 移住者世帯、若者世帯、子育て世帯に対し、四季が丘団地、さくら団地購入費の助成、新築住宅補助、中古住宅購入補助への補助金の加算 ○井原市住宅リフォーム補助金 市内業者による、自己所有住宅の改修などに要する経費の一部を補助 対象経費の10分の1以内（上限額20万円）

新規就農に関する連絡先

担当課名：井原市農林課 住 所：岡山県井原市井原町311-1
 電話番号：0866-62-9522 FAX番号：0866-62-1744
 H P：http://www.city.ibara.okayama.jp